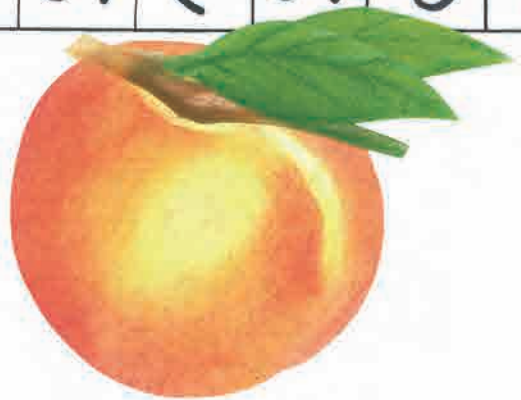


- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード（ことば編）
- 3 童 謡 桃太郎
- 4 回 文 ももの木のもも
- 5 今月の詩 おひる 北原白秋
- 6 た し 算 3の段
- 7 ことわざ ぬかに釘 猫に小判 猫の手も借りたい 寝耳に水
念には念を入れよ
- 8 か け 算 4の段
- 9 俳 句 小林一茶 与謝蕪村 小林一茶
- 10 かぞえうた 2台 4台 6台 （パトカー）
- 11 なぞなぞ
- 12 手あそびうた たけのこいっぽん
- 13 今月のうた アメリカのうた
- 14 慣 用 句 らちがあかない 尻をぬぐう 気が引ける
- 15 イメージトレーニング スティーム（第3話 白鳥座デネブ）
（イメージしてみましよう）
- 16 おはなし 一休さん
- 17 漢 詩 岳陽楼に登る
- 18 百人一首 柿本人麻呂 伊勢大輔 右近 小野小町
- 19 復習コーナー
- 20 暗 示 （静かなところで目を閉じて聞きましょう）

ももの^き木のもも



も	も	の	き	の	も	も
---	---	---	---	---	---	---



おひる

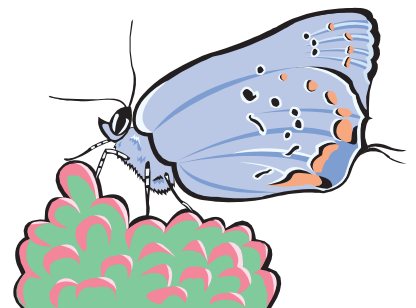
きたはら はくしゅう
北原白秋

だれ の 誰か乗ってる ちょうちよの翅に、
そして 飛んでる 日の照る方へ。

だれ の 誰か乗ってる ちょうちよの翅に、
そして 息して ゆれ ゆれしてる。

だれ の 誰か乗ってる ちょうちよの翅に、
そして 何やら 光って見える。

だれ の 誰か乗ってる ちょうちよの翅に、
そして 野山に 霞がかかる。



ことわざ

ぬかに釘^{くぎ}

いくら言^いっても、相手^{あいて}に対してまったく手^{たい}ごたえや、
効^きき目^めがないこと。



猫^{ねこ}に小判^{こばん}

どんなに良^よいものでも、その価^か値^ちがわかんない人^{ひと}には
何^{なん}の意^い味^みもない。



猫^{ねこ}の手^ても借^かりたい

とても忙^{いそが}しくて人^{ひと}手^でが一人^{ひとり}でも多^{おほ}くほし^{ようす}い様子。



寝^ね耳^{みみ}に水^{みず}

予^よ期^きしないことが起^おこって驚^{おどろ}くこと。



念^{ねん}には念^{ねん}を入^いれよ

注^{ちゅう}意^いしたうえでさらに注^{ちゅう}意^いせよ。



俳句

あおうめ 青梅に て 手をかけて寝る ね かわず 蛙かな

こばやし いっ さ
小林 一茶



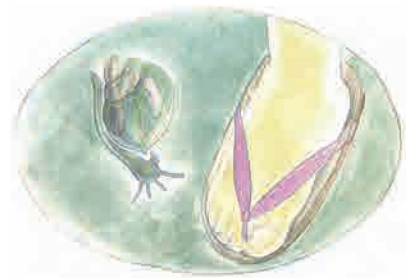
う 卵の はな 花の こぼるる 落の ふき 落葉かな ひろ ば 広葉かな

よ さ ふ そん
与謝 蕪村



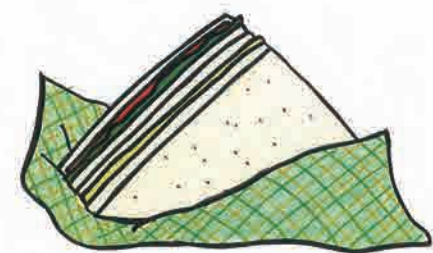
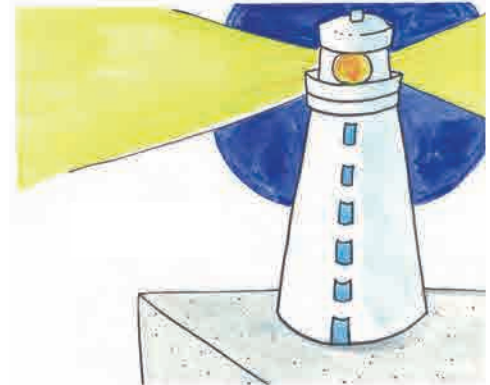
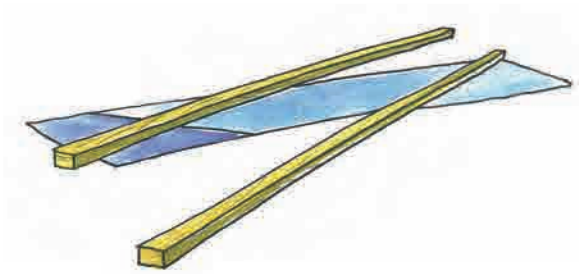
あしもと 足元へ き 来たりしよ かたつむり 蝸牛

こばやし いっ さ
小林 一茶



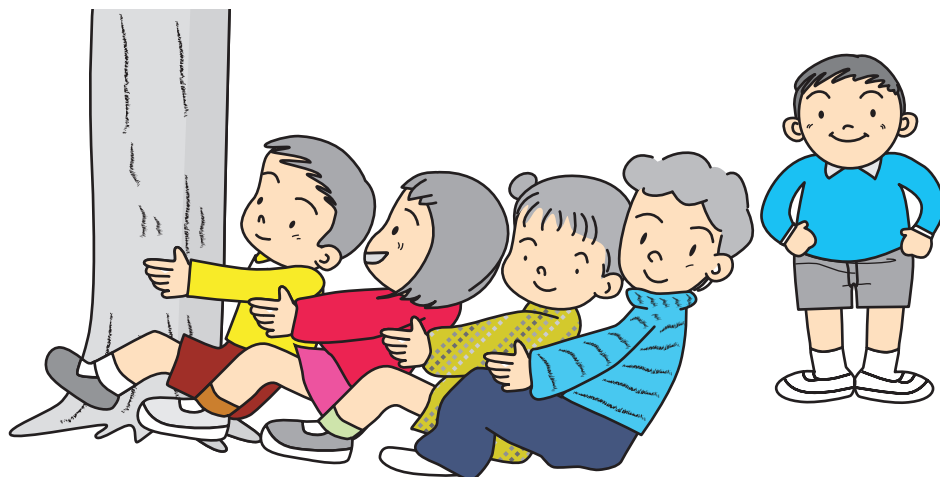
なぞなぞ

- 1 食べる^た前^{まえ}は一本^{いっほん}なのに、食べ^た終わ^おると二本^{にほん}になっているものななに？
- 2 海^{うみ}の近^{ちか}くで、一つ^{ひとつ}しかなくても十^{じゅう}こあるというものななに？
- 3 すう字^じの三^{さん}と一^{いち}でできている食べ^た物^{もの}はなに？
- 4 すう字^じの五^ごと一^{いち}でできている食べ^た物^{もの}はなに？



《たけのこ いっぱん》

- ① たけのこ いっぱんちょうだいな
まだ めがでないよ
たけのこ 二ほん^にちょうだいな



- ① せんとうの子はしゃがんで木^きにつかまる
② 二ばん^にめいこうは、まえの人の^{ひと}おなかに手^てをまわし、つながる

- ② もうめがでたよ



- ③ ♪もうめがでたよ♪ といわれたら、おには一ばん^{いち}うしろの^{ひと}人の
おなかに手^てをまわし、ひっぱる
④ ひっぱられて、はなれた人^{ひと}がつぎのおになる

《アメリカのうた》

巨大なアメリカ 広い国
東に五大湖 アパラチア山脈 西にロッキー山脈
中央部に 中央平原 ミシシッピ川
大自然がつくった グランドキャニオン
首都は ワシントンD.C.で 最大都市は ニューヨーク
三大スポーツ 野球 バスケットボール アメリカンフットボール

巨大なアメリカ 世界の食料庫
広い耕地で 企業的農業 適地適作 高い生産性
はっきり分かれる 農牧業地域
北から 酪農 春小麦 とうもろこし 冬小麦 綿花
太平洋側では 地中海式農業
大西洋側では 酪農 近郊農業

巨大なアメリカ 世界一の工業国
自由な競争 大量生産 高い生産性 高度な技術をもっている
シリコンバレーは 電子工業
ヒューストンは 宇宙産業 医療研究機関
ダラスは 航空機産業 デトロイトは 自動車工業
巨額な資本を持つ 多国籍企業



らちがあかない

^{ものごと}物事が^{けっちやく}かたづかない。決着がつかない。



^{しり}尻をぬぐう

^{た にん}他人の^{ふ し まつ}不始末や^{し っ ぱ い}失敗の^{あと し まつ}後始末をする。

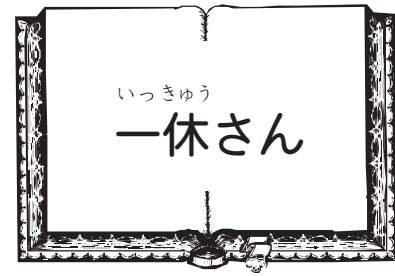


^き気が^ひ引ける

^き気おくれがする。^{えん り よ}遠慮したい^{き も}気持ちになる。



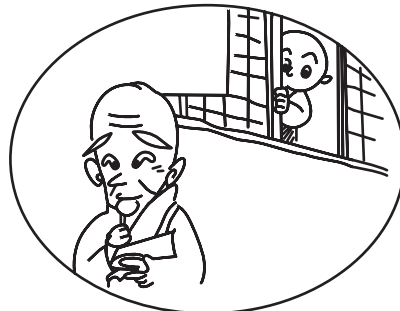
おはなし



とんちのきく^{いっきゅう}一休さんが、和尚^{おしょう}さんや将軍様^{しょうぐんさま}と知恵くらべをするお話^{はなし}です。

お話^{はなし}を聞いた^き後^{あと}で、質問^{しつもん}にこたえてみましょう。

- 1 和尚^{おしょう}さんが出^でかけて留守^{るす}をしたとき、一休^{いっきゅう}さんはみんなに何^{なん}と言^いいましたか。
- 2 一休^{いっきゅう}さんは、帰^{かえ}ってきた和尚^{おしょう}さんに、どう言^いいましたか。
- 3 和尚^{おしょう}さんは、どうして一休^{いっきゅう}さんを怒^{おこ}れなかったのですか。
- 4 「このはしを渡^{わた}らないで下^{くだ}さい。」という立^たて札^{ふだ}を見て、一休^{いっきゅう}さんはどうしましたか。
- 5 トラを縛^{しば}ってくれと言^いった将軍^{しょうぐん}に、一休^{いっきゅう}さんは何^{なん}と言^いいましたか。



岳陽樓に登るがくようろうのぼ

昔むかし聞きく
 今いま上のぼる
 吳ご楚そ
 乾けん坤こん
 親しん朋ぽう
 老ろう病びよう
 戎じゆう馬ば
 軒けんに憑よりて
 涕てい泗し流ながる
 洞どう庭ていのみず水
 岳がく陽よう樓ろう
 東とう南なんにさ坼け
 日にち夜やにう浮かぶ
 一いち字じ無なく
 孤こ舟しゅうあ有り
 関かん山ざんのきた北

杜と

甫ほ



百人一首

あしびきの
山鳥の尾の
しだり尾の
長々し夜を
ひとりかも寝む

(柿本人麻呂)

いにしへの
奈良の都の
八重桜
けふ九重に
にほひぬるかな

(伊勢大輔)

忘らるる
身をば思はず
人の命の
誓ひてし
惜しくもあるかな

(右近)

花の色は
うつりにけりな
いたづらに
わが身世にふる
ながめせし間に

(小野小町)



伊勢大輔